

高知県支部活動報告

—「令和元年度 太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士交流会 in 高知」—

四国本部 高知県支部
事務局長 氏名 芝田 和仁
Kazuhiro SHIBATA



1. はじめに

令和元年9月14日に「令和元年度 太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士交流会 in 高知」を高知市内の高知会館で開催した。

参加者は、基調講演・研究発表に55名、懇親会に47名と盛会であった。

この会は、鳥取・島根・岡山・香川・高知と太平洋～瀬戸内海～日本海を縦断する各県の技術士が交流する会であり、各県持ち回りで毎年交流会を開催している。

本来は、高知県で平成30年度に開催する予定であったが、7月豪雨災害により延期していた。

今回は、「防災における技術士の役割」と題し、高知大学 原教授による基調講演、各県代表者による研究発表を行った。



写真1 河野高知県支部長の開催挨拶

2. 基調講演

基調講演は、「地震防災・減災対策の最前線 ～南海トラフ地震への備えと土木技術者の役割～」と題し、高知大学 教育研究部自然科学系理工学部部門防災推進センター副センター長 原 忠教授に80分講演していただいた。

講演は次の内容であり、土木技術者にとって、ためになる貴重な内容であった。

講演内容
1. 頻発する日本の自然災害
2. 切迫する南海トラフ地震
3. 大地震の教訓から学ぶ
4. 防災工学研究の実践と高知大学からの発信
5. 自然災害と土木技術者

図1 原教授の講演内容

令和元年度 太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士交流会 in 高知

次第

一、開会挨拶 一三時〇〇分～一三時〇五分

河野 一郎 高知県支部長

二、基調講演 一三時〇五分～一四時二五分

演題 「地震防災・減災対策の最前線 ～南海トラフ地震への備えと土木技術者の役割～」

講師 高知大学 教育研究部自然科学系理工学部部門 防災推進センター副センター長 原 忠 教授

三、研究発表 一四時二五分～一六時二五分

西村 悟之 鳥取県 一四時二五分～一四時四五分

永田 良和 島根県 一四時四五分～一五時〇五分

小林 昇 岡山県 一五時〇五分～一五時二五分

岩原 廣彦 香川県 一五時二五分～一五時四五分

北川 尚 高知県 一五時四五分～一六時二五分

四、閉会挨拶 一六時二五分～一六時三〇分

伊藤 徹 鳥取県支部長

司会 小川 修 副支部長

開催にあたり、河野高知県支部長より挨拶があった。



写真 2 原教授の講演状況

3. 研究発表

研究発表は、一人発表 17 分、質疑応答 3 分の合計 10 分で行った。

最初に鳥取県を代表し、西村悟之氏が、「技術士としての地域防災活動」と題し、研究発表が行われた。

発表は、日本技術士会中国本部鳥取県支部の防災委員として地域防災活動に関わっている内容であった。

特に防災教育（学習）に力を入れている様子が伺えた。



写真 3 西村氏の発表状況

二番目は、島根県を代表し、永田良和氏が「島根県松江市の防災教育の取り組み」と題し、研究発表が行われた。

松江市を流れる斐伊川の氾濫・全国防災ランキング・全国統一防災模試・東日本大震災の教訓等、松江市の取り組みを発表された。



写真 4 永田氏の発表状況

三番目に岡山県を代表し、小林昇氏が、「平成 30 年 7 月豪雨災害の反省と今後の技術士会活動」と題し、研究発表が行われた。

岡山県の地形特性と豪雨発生状況、反省と今後の技術士・技術士会の活動について発表された。



写真 5 小林氏の発表状況

四番目は、香川県を代表し、岩原廣彦氏が「社会コミュニティへの防災支援の諸相」と題し、研究発表が行われた。

“アドバイザー派遣事業支援”、“マニュアルの改定支援”、“香川県との災害時支援協定に基づく合同訓練”等、香川県での取り組み内容を発表された。

取り組み内容は、行政と連携し、実行性が高く、高知県においても、技術士が取り組む防災活動の参考になると感じた。



写真 6 岩原氏の発表状況

最後に高知県を代表し北川尚氏が、「近年の地震・豪雨災害の教訓 ～防災の要、『リスク・コミュニケーション』と題し、研究発表が行われた。

リスク・コミュニケーションや人間の心理を踏まえた防災対策について、熱く発表された。

北川氏の発表は、元高知県職員として、技術士として、防災に対する強い想いが込められており、迫力があつた。

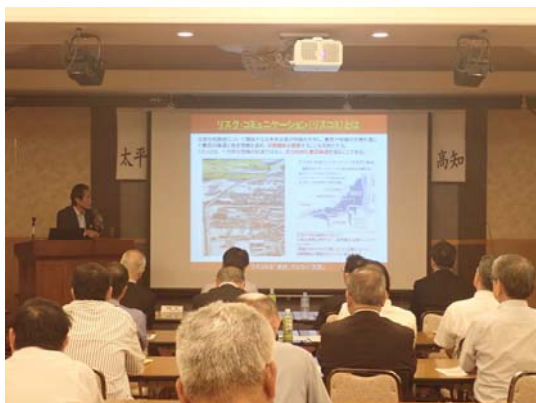


写真 7 北川氏の発表状況

閉会挨拶は、次回開催県の伊藤鳥取県支部長が行った。



写真 8 伊藤鳥取県支部長の閉会挨拶

4. 懇親会から二次会

懇親会は、右城日本技術士会理事の乾杯ではじまった。



写真 9 右城日本技術士会理事の乾杯

懇親会が始まると5県の47名の技術士が親睦を深めた。

久しぶりに会う方、初めて会う方、様々であるが、たくさく食べ、たくさん飲んで、楽しい時間はあっという間に終わった。



写真 10 懇親会の開催状況

5. おわりに

2年ぶりに開催した「太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士交流会 in 高知」は、盛会で、無事終了しました。

基調講演をお願いした原教授、研究発表をされた5名の技術士の方、各県の事務局、高知県支部幹事の皆様、参加していただいた皆様に感謝申し上げます。

各県技術士の方と交流し、良い刺激をいただいた共に、まだまだ技術研鑽が必要な事を痛感しました。

令和2年度の鳥取県での開催を楽しみにし、技術研鑽に努める所存です。

—以上—